



ふれあいネットワーク

いちのせき

社協 だより

第23号

〔2012年6月30日発行〕



ファミリー サポートセンター 会員研修会

平成一六年にスタートした一関市ファミリーサポートセンターは今年で八年目を迎えました。

一関市ファミリーサポートセンターでは、育児の援助を行う方（協力会員）と、育児の援助を受ける方（依頼会員）、双方を兼ねる方（両方会員）を組織化し、育児に関する相互援助活動の支援を行っています。

おかげさまで、会員の皆様の厚い思いとご支援のもと、会員同士が子育ての喜びをわかちあえる事業として会員の皆様から信頼されている状況を感じているところです。センターでは「預かったお子さんを安全に保護者にお返しする」ために、毎年、会員研修会を行っています。

六月五日に開催した研修会では、保健師とアドバイザーによる講話の中で、乳幼児の心身から発する信号への対処法や子どもを預かる際の留意点を学びました。今後も、研修会、交流会等を開催いたしますので、子育て中の保護者の方やお子さんが大好きな方は、どうぞお気軽に問い合わせください。これからも会員とセンターがチームとなって地域に期待され信頼される相互支援活動を行ってまいります。



この広報は共同募金の一部をあてて発行しております。

平成二十三年 度 一 関市社会福祉協議会 事業報告

二十三年度は、一体感の醸成に努めつつ、基本理念（ビジョン）『支えあい 幸せを感じる 地域の暮らし』に基づいて、生活に役立つ福祉サービスの提供、住民が安心して暮らすことができる地域社会の構築に努めた。

また、事業推進に当たり、基本理念、基本方針に基づき次の項目を実践目標として展開した。

(1) 地域福祉の推進

市民の社会参加の促進とボランティア意識の醸成をはかりながら、住民相互で支え合う互助・共助の精神を高め、地域を支える仕組みの構築に努めた。

また、社協の事務事業の円滑な推進を図るため、福祉委員である行政区長、民生児童委員等の協力を得て、社協会費及び募金、福祉事業の調査、連絡調整などにより社協業務の推進と地域福祉の増進を図った。

(2) 子育て支援

子育て環境が徐々に変化しつつあることを踏まえ、子育てサロン事業に取り組むとともに、ファミリーサポートセンター事業等の利用促進を図り、子育て支援ネットワークの拡大に努めた。

(3) 相談、支援体制

心配ごと相談所などで適切な相談業務を行い、関係機関と連絡を密にしながら問題解決にあたった。

また、判断能力が不十分な方への福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理などを行う日常生活自立支援事業や、障害者や家族に対し、地域における生活を支援するための障害者支援プログラムの活用を促進する等、相談支援機能の充実に努めた。

(4) 介護保険事業及び障害者の自立支援

介護保険事業及び自立支援事業の運営に当たって、介護職員等の研修を行いサービスの質の向上と収支のバランスを堅持し、更には社協のもつ公益性等の特性も踏まえながら経営基盤強化に努めた。

また、高齢者総合相談センターしぶたみと新たに開設したはなみずみの経営により、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるようサービス体制の確保に努めた。就労継続支援事業施設千既ワークプラザの作業活動の充実を図り、適切な支援を提供するよう努めた。

(5) 人口減少や高齢化に加え、混迷する時代に対応するため、情報提供の場としての社協だよりの充実と学習の機会として五回連続講座を開催した。

(6) 災害支援

ボランティアバスの運行と被災地社協へ職員の出遣を行った。

地域福祉事業

(1) 小地域福祉推進事業

地域の人々が安心して豊かな生活ができるような地域福祉を期するため、地区福祉活動推進協議会、自治会の自主的な福祉活動を支援するため、活動助成金を交付した。

・交付金額 二五地区、七四行政区 六、〇五三、四〇〇円

(2) ふれあいサロン事業

小地域を単位として、高齢者等の生きがい作りや、寝たきり・閉じこもり予防活動を目的に定期的に開催し、地域住民が主体となり実施したサロンに対し、活動助成した。

・助成サロン数 三一六ヶ所
(実施回数 三、三四九回)

(3) 子育てサロン事業

地域住民やボランティアが主体となり、孤立しがちな子育て家庭の育児不安の解消に資するとともに、当事者同士がふれあい仲間づくりを行う活動に対し活動助成した。

・助成サロン数 十五ヶ所
(参加者数 二六一人)

(4) 子育て支援事業(受託事業)

一関市ファミリーサポートセンターにおいて、育児の援助を行う方(協力会員)と、育児の援助を受ける方(依頼会員)、双方を兼ねる方(両方会員)を組織化し、育児に関する相互援助活動の支援を行った。また、子育て支援の相談・情報提供、保育ボランティアの派遣、子育て支援の講師として職員を派遣した。

・会員数 四三一人 ・活動件数 八五四件
・子育て支援件数 一、二〇六件

(5) 講演会の開催

地域福祉に関する情報の提供と学習機会を設定するため、一関公民館、いちのせき市民活動センターと共催し、一関市総合福祉センターを会場に五回連続講座を開催した。

(6) 社協ふくし祭り「ゆいっこ広場」の開催

市民と福祉関係者等とのふれあいの場を設け、互いの理解を深め、誰もが安心して暮らせるまちづくりに努めるため、ボランティア活動の啓発をすすめるながら、福祉まつりを開催した。

・開催日 平成二十三年十月十六日(日)

・テーマ 「悠久の流れに 歴史とロマンが 息づくまちづくり」

・内容 地域活動・地場産品の展示、太鼓演奏、幼稚園児のお遊戯、げいび追分など伝統芸能の発表、炊出し訓練、農産物販売、ハートフルショップ、むし菌相談他

・会場 東山地域交流センター

・来場者数 五三〇人(関係者含)

(7) 第六回一関市社会福祉大会

平成二十三年七月二十八日(水)午後一時

三十分 一関文化センターにおいて、福祉関係者など五百名が参加して行われた。

(8) 社協だよりの 全戸配布 年四回発行

(9) ホームページの開設

一関市社会福祉協議会ホームページを開設し活動紹介を行った。

・総閲覧件数 二二、二七一件

(10) ボランティアセンター事業

① ボランティアセンター運営委員会の開催
平成二十四年三月十四日

平成二十三年度ボランティアセンター事業の進捗状況について

一関市災害ボランティアセンターの活動状況について

平成二十四年度ボランティアセンター活動計画(案)について

② ボランティア保険の加入

ボランティア活動をする際に安心して活動が行えるように「ボランティア活動保険」等の手続を行なった。

・ボランティア活動保険 三、二九七人

・ボランティア行事用保険 二五件
(二、六三三人)

・送迎サービス補償 一件(六一人)

・有償活動保険 十一人

③ ボランティア協力校の指定

一関市内の小・中・高等学校の児童・生徒を対象として、ボランティアへの理解と関心を高め、ボランティア活動、社会連帯の精神を養うとともに、児童・生徒を通じて家庭および地域社会への啓発を図ることを目的に、ボランティア協力校十八校を指定した。

④ ボランティア講座の開催

I ボランティアスクール(中学生)の開催
(二十年度より統一事業)

夏休み期間を利用し、中学生及び高校生が様々なふれあい体験を通して、ボランティア活動の理解とボランティア精神を醸成することをねらいに実施した。

・参加者数 二三人

II 高校生保育ボランティア体験の開催

子育て支援活動への参加を通して、ボランティア活動への関心を高めるとともに、いのちや家庭の大切さについて理解を深めることを目的として開催した。

- ・開催回数 二回 ・参加者数 十人
- ⑤ 一関市災害ボランティアセンターの活動状況について（平成二十三年三月〜平成二十四年三月）

一関市との連携のもと「一関市災害ボランティアセンター」を平成二十三年三月に開設し、ボランティア活動情報を発信するとともに、ボランティア登録及びボランティア派遣調整・相談支援を行った。

（災害ボランティアセンターを経由して活動したボランティア活動者数 延べ一、三五六人。）

※注 災害ボランティアセンターを経由しないで、NPO・団体等で活動した方もあります。

＜主な活動は以下の通り＞

- ア、炊き出し支援活動（市内避難所及び沿岸福祉避難所、沿岸子育て支援センター）
- イ、高齢者及び障害者からの家の片付け、清掃（市内被災者及び市内みなし仮設避難者）
- ウ、東京都医療チーム送迎ボランティアを派遣（一関から陸前高田・気仙沼市の避難所等）
- エ、NPO、NGO等の物資輸送連絡調整、輸送、現地配達等の活動
- オ、陸前高田市への災害支援ボランティアバスの運行
- カ、ふれあいサロンへの支援
- キ、沿岸被災地への夏休み（夏期休暇）を利用したボランティア参加者の宿泊拠点支援
- ク、被災地支援車いす修理・寄贈活動の実施
- 日本社会福祉弘済会の「空飛ぶ車いす」活動の岩手県内調整（大船渡、一関）と車いす修理会（特別養護老人ホーム明生園）の実施

ケ、災害ボランティアに関する情報提供（平成二十三年五月）

⑪ 心配ごと相談所

日常生活の心配ごと、悩みごと等を気軽に相談できるよう相談員を委嘱し相談、援助に努めた。また、花泉、大東、千厩の各支部を会場に移動相談所を開設した。

- ・開設日数 五十日 ・移動相談日数 八日
- ・相談延人数 六二人
- ・相談延件数 二六七件

⑫ 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯や障害のある方、介護を要する高齢者等が同居する世帯に対して、経済的自立と生活意欲の助長、社会参加の促進を図るため、低い金利（一部無利子）で、岩手県社協から貸付を行った。

- ・貸付件数 五八件
- ・貸付金額 三三、九六二、二五〇円

⑬ たすけあい金庫貸付事業

失業や疾病等による一時的収入減等により、生活維持が困難になった世帯に対し、一時資金として無利子で貸し付けを行った。（限度額五〇、〇〇〇円）

- ・貸付件数 十二件
- ・貸付総額 四七五、〇〇〇円

⑭ 日常生活自立支援事業（受託事業）

福祉サービス自ら選択したり、福祉サービス提供事業者と契約することの判断能力が不十分な方に対し、利用手続きの援助や代行、公共料金の支払いなど、本人の日常生活の自立を支援した。

本協議会は西磐井及び東磐井の広域を担う「基幹社協」と位置付けられている。このため、専門員一人が配置され、生活支援員として一関支部五人、六支部・平泉町に各二人、藤沢町三人、合計二十二人を委嘱し、利用者の支援に努めた。

- ・相談援助延件数 八二四件
- ・利用援助契約者数 五三人

⑮ 敬老会（受託事業）

多年にわたり社会に尽くしてきた高齢

者を敬愛し、長寿を祝う敬老会を敬老の日の前後に地区ごとに当祝者八十歳以上、一三、二六〇人を招待し開催した。

⑯ 在宅介護者リフレッシュ事業

在宅で寝たきり高齢者や重度障がい者の介護をされている方々の交流と、日頃の介護疲れを癒し、心身ともにリフレッシュを図るため集いを開催した。

- ・一泊二日 花巻温泉 ホテル花巻 二四人
- ・日帰り 矢ひつ温泉 瑞泉閣 五六人

⑰ ひとり暮らし高齢者の集い事業

六十五歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、高齢者の親睦交流等を図ることを目的に開催した。

⑱ 障がい者生活支援事業（受託事業）

一関障害者支援プラザにおいて、福祉サービスの利用援助、社会資源の活用や生活力を高めるための支援、ピアカウンセリング、介護相談及び情報の提供等を行った。また、本人参加のケア会議を開催し、処遇困難ケースについては一関地区障害者地域自立支援協議会のサービス調整会議で解決した。

- ・相談件数 一、四九八件
- ⑲ 手話通訳者等派遣事業（受託事業）

一関市内の聴覚障害者等が意思疎通に支障のある時、手話を介したコミュニケーションを行うことにより、聴覚障害者等の社会参加の促進及び交流活動の充実を図るため、手話通訳者等の派遣コーディネートおよび相談支援を行った。

- ・派遣延べ人数 二二四人

⑳ 外出支援サービス事業（受託事業）

在宅の寝たきり高齢者等の移動困難者を対象に医療機関や福祉施設への通院、通所、入退所の外出支援を行った。

- ・稼働時間 一、六九四時間四十分
- ・延利用人数 六三七人

㉑ 車いす貸出し事業

高齢者や障害者の生活を援助するため、外出時等に車いすを貸し出した。

- ・利用人員 一五一人
- ②② 緊急連絡カード設置事業

緊急時に連絡が必要と認められるひとり暮らし高齢者等に作成配布し、民生委員の協力により、安全・安心をはかるため、住み慣れた家庭や地域で、緊急時の見守り活動を行った。

- ・配布枚数 二、七四六枚
- ②③ 福祉団体等助成事業

福祉団体等の活動を円滑に推進するため、各団体の活動を助成した。

- ・三三団体 八五八、〇〇〇円

②④ ボランティア団体等助成事業

ボランティア団体等の活動を円滑に推進するため、各団体の活動に助成した。

- ・五団体 二、四七四、〇〇〇円

②⑤ 食の自立支援事業（受託事業）

概ね六十五歳以上のひとり暮らし高齢者、高齢夫婦、障害者等を対象に、食事を自宅に届け、食の自立を支援し、併せて安否確認を行った。

支部	二二年度		二三年度	
	登録者数	配食総数	登録者数	配食総数
大東	一四人	一、六四四食	一四人	一、〇六三食
千厩	四二	九二五	三四	二、〇四八
合計	五六	二、五六九	四八	三、一一一

②⑥ 災害見舞金

罹災世帯に対し見舞金を贈った。

- ・十四件 二六〇、〇〇〇円

②⑦ 共同募金事業への協力

- ① 赤い羽根共同募金結果

赤い羽根共同募金運動は、十月一日から目標額を達成するため、支部ごとに運動を展開した結果、厳しい社会情勢が続く中ではあったが、住民各位のご協力により、目標を達成することができた。

この共同募金運動による配分金は、岩手県共同募金会を通じて県内の民間福祉施設、福祉団体、社会福祉協議会等の地域福祉事業の貴重な財源となっています。

・実績額 一八、一〇九、一七〇円

「みんなでささえあうあつたかい地域づくり」をスローガンに、募金運動を展開し、戸別、職域、学校募金などが寄せられ、生活困窮世帯、ひとり暮らし高齢者、母子父子世帯、寝たきり高齢者、認知症高齢者、障害児（者）を重点に、一関市社会福祉協議会が民生児童委員の協力により配分したほか、施設にも配分した。

平成二十三年年度実績額と配分額の差額二、二八一、四四五円は、いったん岩手県共同募金会に送付し、次年度の一関市社会福祉協議会の地域福祉事業、在宅福祉サービス等の事業費として配分を受けるものです。

(1) 地域包括支援センター事業（受託事業）

高齢者がいつまでも住み慣れた地域で安心して生活していけるよう、介護・福祉・保健医療などさまざまな面から総合的に支えるために、大東、東山地域と新たに花泉地域を担当する地域包括支援センター（平成二十四年一月から開設）を一関地区広域行政組合から委託を受け運営した。

平成二三年度	花泉地域	大東・東地域	合計
介護予防プラン	五五〇	三、三八二	三、九三二
内委託件数	三五八	一、五一〇	一、八六八
二次予防プラン	四	六四	六八
総合相談件数	三七	一六五	二〇二
実態把握件数	一二	一八八	二〇〇
平成二二年度	一	大東・東山地域	
介護予防プラン		三、〇四三	
内委託件数		一、四八五	
二次予防プラン		七四	
総合相談件数		八四	
実態把握件数		八三	

要介護及び要支援と認定された高齢者等に対し、訪問介護員が家庭を訪問して、日常生活の家事援助や身体介護を行った。

延岡問回数	二七五〇	大東	東山	室根	合計
延岡用人数	一、五八	八九〇九	六三三九	六九〇七	四九八五
輕減者	三四	二七	五〇	〇	一一一
二・三年度	花泉	大東	東山	室根	合計
延岡問回数	二七五〇	八九〇九	六三三九	六九〇七	四九八五
延岡用人数	一、四八三	六四三三	四四六六	三四五〇	二、九七七
輕減者	二四	三四	四五	〇	一二三

障害者の方に対し、訪問介護員が家庭を訪
問し、日常生活の家事援助や身体介護を行っ
た。

延用回数	二二年度	花泉	大東	東山	室根	合計
延用人数	一七四	六八	九一	二七	三五一〇	六、三四七
延用回数	三三年度	花泉	大東	東山	室根	合計
延用人数	三、九三	五六二	一六〇八	二四三	六、三四七	

在宅で自力入浴が困難な方に、特殊浴槽を搭載した車で訪問し、入浴介護を行った。

[illegible]

日帰り施設介護サービス。自宅からの送迎入浴・昼食・余暇活動等のサービスを行い、一日を楽しく過ごせる通所支援を行った。

延利用回数	七、六九九	七、六七五	五、二四四	三、九二〇	二、三、四七〇
延利用人数	一、五六	一、二八三	八六一	六七七	三、八七七
増減者	五七	三一	一四	一	一〇三
三年度	大東	興田	東山	室根	合計

延用回数	七九〇	七五九	五七六	二二〇	五
延用人数	一、三六	一、四三	九四一	四四九	三、九四九
軽減者	八	五七	一八	一	二五四

(9) 高齢者健康づくり教室事業（ふれあい入浴サービス）（受託事業）

各地区老人クラブ単位に入浴サービスや健康チェック、余暇活動等を提供し健康維持増進を図った。

(6) ケアプランセンター（介護保険事業）
依頼を受けてケアマネジャーが利用者宅を訪問し、ケアプランの作成や介護に関する相談等の支援を行った。

延利用件数	花 泉	大 東	興 田	東 山	室 根	合 計
三年度	一、七七六	一、六五	一、五〇五	一、〇〇二	九五五	六八八三
三年度	一、七八八	一、七六一	一、五三八	一、一八〇	九三五	七二〇二

介護予防・生活支援等の総合相談、高齢者の実態把握、介護保険対象外の方への支援を行った。

延利用件数	興田	東山	合計
一三年度	一一五	九五九	一、〇七四
一二年度	一五三	一、一七四	一、三二七

六十五歳以上の高齢者や介護認定非該当者等を対象に生きがい支援として、次のサービ
スを提供した。

訪問介護員が訪問し家事援助等のサービスを提供した。

延訪回數	延訪回數	延訪回數	延訪回數	延訪回數	延訪回數
二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五
一	一	一	一	一	一
三	三	三	三	三	三
八	八	八	八	八	八
一	一	一	一	一	一
四	四	四	四	四	四
花	花	花	花	花	花
泉	泉	泉	泉	泉	泉
大	大	大	大	大	大
東	東	東	東	東	東
東	東	東	東	東	東
山	山	山	山	山	山
室	室	室	室	室	室
根	根	根	根	根	根
合	合	合	合	合	合
計	計	計	計	計	計
五	五	五	五	五	五
五	五	五	五	五	五
七	七	七	七	七	七
五	五	五	五	五	五

入浴、昼食、余暇活動を行いながら生活指導を行った。

延利用人数	三〇七	〇	一五九	四六六
延利用回数	九四九	〇	五七六	一五二五
平成三年度	大東	東山	室根	合計
延利用人数	一〇七	〇	一六六	二七三
延利用回数	三〇七	〇	六四六	九五三
平成三年度	大東	東山	室根	合計

年度	実施回数	延利用人数
二二年度	五五	六四五
二三年度	五五	六二二

在宅障害者の健康保持・生活支援を目的に訪問入浴サービスを提供した。

延訪問回数	延訪問回数	延訪問回数	延訪問回数	延訪問回数	延訪問回数
延利用人数	延利用人数	延利用人数	延利用人数	延利用人数	延利用人数
二七	二四	二四	二四	二四	二四
四七	四三	四三	四三	四三	四三
七四	六七	六七	六七	六七	六七
三六七	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三
合計	合計	合計	合計	合計	合計
大東	大東	大東	大東	大東	大東
東山	東山	東山	東山	東山	東山
大東	大東	大東	大東	大東	大東
東山	東山	東山	東山	東山	東山
合計	合計	合計	合計	合計	合計

(11) 生活介護事業（身体障害者等に対する生

在宅障害者に対し、昼間、入浴、排泄、食事の介助を行うとともに、創作的活動等の機会を提供した。

年度	一 年度	二 年度	三 年度
東山支部	一	一	一
	四九	八六	延利用回数

(12) 二次予防事業通所型介護予防事業（受託事業）

介護予防として、機能訓練・健康教育等を行い日常生活改善に向け運動器機能の向上をはかった。

平成三三年度	花泉	大東	室根	合計
延実施回数	一二	一二	一三	三七
延利用人数	五三	四八	八三	一八四

平成23年度 決算の状況

一般会計

資金収支計算書 (自)平成23年4月1日 (至)平成24年3月31日

[単位:円]

勘定科目		予算額	決算額	差異
經常活動による収支	収入			
	会費収入	32,164,000	31,967,700	-196,300
	寄附金収入	10,152,000	16,065,506	5,913,506
	經常経費補助金収入	98,743,000	96,259,921	-2,483,079
	助成金収入	3,479,000	3,435,090	-43,910
	受託金収入	87,483,000	82,361,114	-5,121,886
	事業収入	14,268,000	12,948,380	-1,319,620
	貸付事業等収入	2,995,000	2,732,000	-263,000
	共同募金配分金収入	30,754,000	30,754,488	488
	介護保険収入	342,020,000	344,449,776	2,429,776
	自立支援費等収入	22,345,000	23,618,930	1,273,930
	補助事業等収入	10,521,000	10,479,373	-41,627
	雑収入	7,380,000	7,664,643	284,643
	受取利息配当金収入	887,000	748,572	-138,428
	会計単位間繰入金収入	2,696,000	2,126,000	-570,000
	経理区分間繰入金収入	29,332,000	23,248,281	-6,083,719
	經常収入計(1)	695,219,000	688,859,774	-6,359,226
	支出			
	人件費支出	434,814,000	416,391,999	18,422,001
	事務費支出	53,305,000	44,431,265	8,873,735
	事業費支出	146,216,000	129,953,898	16,262,102
	貸付事業等支出	2,750,000	475,000	2,275,000
	助成金支出	34,234,000	33,493,300	740,700
	会計単位間繰入金支出	5,562,000	5,533,000	29,000
	経理区分間繰入金支出	29,332,000	23,248,281	6,083,719
	經常支出計(2)	706,213,000	653,526,743	52,686,257
	經常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	-10,994,000	35,333,031	46,327,031
施設整備等による収支	収入			
	固定資産売却収入	42,000	42,000	0
	施設整備等収入計(4)	42,000	42,000	0
	支出			
	固定資産取得支出及び繰入支出	2,347,000	2,155,650	191,350
財務活動による収支	支出			
	施設整備等支出計(5)	2,347,000	2,155,650	191,350
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-2,305,000	-2,113,650	191,350
	収入			
	積立金取崩収入	60,113,000	10,113,680	-49,999,320
	その他の収入	6,577,000	6,577,605	605
	財務収入計(7)	66,690,000	16,691,285	-49,998,715
	支出			
	積立預金積立支出	50,000,000	0	50,000,000
	その他の支出	5,422,000	5,223,475	198,525
	財務支出計(8)	55,422,000	5,223,475	50,198,525
	財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	11,268,000	11,467,810	199,810
	予備費(10)	2,082,000	0	2,082,000
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	-4,113,000	44,687,191	48,800,191
前期末支払資金残高(12)		276,263,000	276,267,699	4,699
当期末支払資金残高(11)+(12)		272,150,000	320,954,890	48,804,890

貸借対照表 平成24年3月31日現在

[単位:円]

資産の部				負債の部			
科目	当年度末	前年度末	増減	科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	348,403,293	294,875,190	53,528,103	流動負債	27,448,403	18,607,491	8,840,912
現金	500,000	500,000	0	未払金	22,345,959	16,452,149	5,893,810
預貯金	255,175,412	214,936,833	40,238,579	預り金	4,894,944	2,122,092	2,772,852
未収金	87,212,198	75,084,952	12,127,246	前受金	81,200	43,000	38,200
前払金	362,360	349,550	12,810	経理区分勘定	0	△ 26,000	26,000
会計単位外貸付金	5,153,323	4,003,855	1,149,468	仮受金	126,300	16,250	110,050
固定資産	937,822,113	955,983,896	△ 18,161,783	固定負債	93,119,730	87,932,369	5,187,361
基本財産	202,203,504	212,833,885	△ 10,630,381	退職給与引当金	93,119,730	102,435,665	△ 9,315,935
基本財産特定預金	7,000,000	7,000,000	0	経理区分勘定	0	△ 14,503,296	14,503,296
建物	193,479,320	199,245,260	△ 5,765,940	負債の部合計	120,568,133	106,539,860	14,028,273
建物付属設備	1,724,184	6,588,625	△ 4,864,441	純資産の部			
その他の固定資産	735,618,609	743,150,011	△ 7,531,402	基本金	7,000,000	7,000,000	0
建物	1,347,853	1,644,723	△ 296,870	基本金	7,000,000	7,000,000	0
構築物	1,236,338	1,346,085	△ 109,747	基金	300,000,000	300,000,000	0
車輛運搬具	3,878,151	7,651,427	△ 3,773,276	福祉基金	300,000,000	300,000,000	0
器具及び備品	8,251,409	9,408,693	△ 1,157,284	国庫補助金等特別積立金	141,849,059	147,442,792	△ 5,593,733
ソフトウェア	134,750	756,040	△ 621,290	その他の積立金	318,830,878	318,830,878	0
貸付事業等貸付金	8,819,500	11,076,500	△ 2,257,000	財政調整積立金	107,515,574	107,515,574	0
退職共済預け金	65,008,040	64,210,295	797,745	介護保険財政積立金	211,315,304	211,315,304	0
福祉基金積立預金	300,000,000	300,000,000	0	次期繰越活動収支差額	397,977,336	371,045,556	26,931,780
財政調整積立預金	107,515,574	107,515,574	0	次期繰越活動収支差額	397,977,336	371,045,556	26,931,780
介護保険財政積立預金	211,315,304	211,315,304	0	(うち当期活動収支差額)	(16,818,100)	(△ 10,580,330)	(27,398,430)
退職金積立預金	28,111,690	38,225,370	△ 10,113,680				0
経理区分勘定	0	△ 10,000,000	10,000,000	純資産の部合計	1,165,657,273	1,144,319,226	21,338,047
資産の部合計	1,286,225,406	1,250,859,086	35,366,320	負債及び純資産の部合計	1,286,225,406	1,250,859,086	35,366,320

脚注:減価償却費の累計額 479,919,741円

公益事業特別会計

資金収支計算書 (自)平成23年4月1日 (至)平成24年3月31日

[単位:円]

勘定科目			予算額	決算額	差異
経常活動による収支	収入	助成金収入	158,000	109,000	-49,000
		受託金収入	24,750,000	24,880,500	130,500
		介護保険収入	137,496,000	133,347,320	-4,148,680
		補助事業等収入	4,282,000	4,287,500	5,500
		雑収入	1,000	30,200	29,200
		受取利息配当金収入	4,000	16,730	12,730
		会計単位間繰入金収入	5,562,000	5,533,000	-29,000
		経理区分間繰入金収入	2,783,000	2,783,000	0
		経常収入計(1)	175,036,000	170,987,250	4,048,750
	支出	人件費支出	132,328,000	128,114,681	4,213,319
		事務費支出	5,358,000	4,251,476	1,106,524
		事業費支出	23,461,000	19,679,610	3,781,390
		会計単位間繰入金支出	2,696,000	2,126,000	570,000
		経理区分間繰入金支出	2,783,000	2,783,000	0
経常支出計(2)		166,626,000	156,954,767	9,671,233	
経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		8,410,000	14,032,483	5,622,483	
施設整備等による収支	収入	施設整備等収入計(4)	0	0	0
	支出	固定資産取得支出及び繰入支出	1,633,000	1,065,246	567,754
		施設整備等支出計(5)	1,633,000	1,065,246	567,754
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-1,633,000	-1,065,246	567,754	
財務活動による収支	収入	財務収入計(7)	0	0	0
	支出	その他支出	2,114,000	1,952,150	161,850
		財務支出計(8)	2,114,000	1,952,150	161,850
	財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-2,114,000	-1,952,150	161,850	
予備費(10)			597,000	0	597,000
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)			4,066,000	11,015,087	6,949,087
前期末支払資金残高(12)			45,706,000	45,707,869	1,869
当期末支払資金残高(11)+(12)			49,772,000	56,722,956	6,950,956

貸借対照表 平成24年3月31日現在

[単位:円]

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	当年度末	前年度末	増 減	科 目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	69,148,721	53,387,698	15,761,023	流動負債	12,425,765	7,679,829	4,745,936
現 金	0	0	0	未払金	7,272,442	3,649,974	3,622,468
預貯金	41,693,173	31,107,888	10,585,285	預り金	0	0	0
未収金	27,455,548	22,241,343	5,214,205	会計単位外借入金	5,153,323	4,003,855	1,149,468
前払金	0	38,467	△ 38,467	経理区分勘定	0	26,000	△ 26,000
				固定負債	0	14,503,296	△ 14,503,296
				経理区分勘定	0	14,503,296	△ 14,503,296
固定資産	12,664,092	22,734,413	△ 10,070,321				
その他の固定資産	12,664,092	22,734,413	△ 10,070,321				
車輛運搬具	5	189,795	△ 189,790				
器具及び備品	2,151,945	2,310,251	△ 158,306				
ソフトウェア	512,142	234,367	277,775	負債の部合計	12,425,765	22,183,125	△ 9,757,360
介護保険財政積立預金	10,000,000	10,000,000	0	純 資 産 の 部			
経理区分勘定	0	10,000,000	△ 10,000,000	その他の積立金	10,000,000	10,000,000	0
				介護保険財政積立金	10,000,000	10,000,000	0
				次期繰越活動収支差額	59,387,048	43,938,986	15,448,062
				次期繰越活動収支差額	59,387,048	43,938,986	15,448,062
				(うち当期活動収支差額)	(15,448,062)	(42,539,669)	(△ 27,091,607)
				純資産の部合計	69,387,048	53,938,986	15,448,062
資産の部合計	81,812,813	76,122,111	5,690,702	負債及び純資産の部合計	81,812,813	76,122,111	5,690,702

脚注:減価償却費の累計額 29,213,835円

千厩ワークプラザ特別会計

資金収支計算書 (自)平成23年4月1日 (至)平成24年3月31日 [単位:円]

勘定科目			予算額	決算額	差異
就労支援事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	3,501,000	3,379,344	-121,656
		就労支援事業収入計(1)	3,501,000	3,379,344	-121,656
	支出	就労支援事業支出	3,501,000	3,379,344	121,656
		就労支援事業支出計(2)	3,501,000	3,379,344	121,656
	就労支援事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		0	0	0
福祉事業活動による収支	収入	運営費収入	2,868,000	2,759,038	-108,962
		自立支援費収入	19,330,000	20,081,320	751,320
		利用者負担金収入	72,000	48,380	-23,620
		経常経費補助金収入	754,000	756,571	2,571
		雑収入	51,000	137,990	86,990
		受取利息配当金収入	1,000	9,642	8,642
		福祉事業収入計(4)	23,076,000	23,792,941	716,941
	支出	人件費支出	12,438,000	11,982,433	455,567
		事務費支出	2,448,000	2,127,702	320,298
		事業費支出	5,260,000	4,676,858	583,142
		福祉事業支出計(5)	20,146,000	18,786,993	1,359,007
	福祉事業活動資金収支差額(6)=(4)-(5)		2,930,000	5,005,948	2,075,948
施設整備棟による収支	収入	施設整備等収入計(7)	0	0	0
	支出	固定資産取得支出	230,000	189,000	41,000
		施設整備等支出計(8)	230,000	189,000	41,000
	施設整備等資金収支差額(9)=(7)-(8)		-230,000	-189,000	41,000
財務活動による収支	収入	財務収入計(10)	0	0	0
	支出	その他の支出	201,000	199,725	1,275
		財務支出計(11)	201,000	199,725	1,275
	財務活動資金収支差額(12)=(10)-(11)		-201,000	-199,725	1,275
予備費(13)			0	0	0
投機資金収支差額合計(14)=(3)+(6)+(9)+(12)-(13)			2,499,000	4,617,223	2,118,223
前期末支払資金残高(15)			20,396,000	20,396,235	235
当期末支払資金残高(14)+(15)			22,895,000	25,013,458	2,118,458

貸借対照表 平成24年3月31日現在 [単位:円]

資産の部				負債の部			
科目	当年度末	前年度末	増減	科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	26,140,501	21,569,630	4,570,871	流動負債	1,127,043	1,173,395	△ 46,352
現金	30,000	30,000	0	未払金	1,127,043	1,173,395	△ 46,352
預貯金	19,542,478	16,247,104	3,295,374	預り金	0	0	0
未収金	6,568,023	5,292,526	1,275,497				
				固定負債	0	0	0
固定資産	1,717,673	2,035,121	△ 317,448				
その他の固定資産	1,717,673	2,035,121	△ 317,448				
車輛運搬具	584,392	784,754	△ 200,362				
器具及び備品	1,133,281	1,250,367	△ 117,086				
				負債の部合計	1,127,043	1,173,395	△ 46,352
				純資産の部			
				国庫補助金等特別積立金	1,386,831	1,655,035	△ 268,204
				次期繰越活動収支差額	25,344,300	20,776,321	4,567,979
				次期繰越活動収支差額	25,344,300	20,776,321	4,567,979
				(うち当期活動収支差額)	(4,567,979)	(4,551,674)	(16,305)
				純資産の部合計	26,731,131	22,431,356	4,299,775
資産の部合計	27,858,174	23,604,751	4,253,423	負債及び純資産の部合計	27,858,174	23,604,751	4,253,423

脚注:減価償却費の累計額 1,614,681円

支部通信

一関支部

「ふるさとお茶っこ交流会」を開催
被災者の繋がりを支援

被災者支援

の「サロン」
「お茶会」は
阪神・淡路大
震災以来、生
活支援活動
（心のケアや
コミュニケーション
形成など）に
有効な取り組
みとして行わ
れており、東
日本大震災の



支援活動として県内でも応急仮設住宅を
中心に展開されています。

一関市社協では被災者支援を行う中
で、昨年度千葉大学こころのケアチーム
が行った「お茶っこ交流会」に協力し、
みなし仮設住宅等に住む一関市に避難し
ている被災者の声を聞き、「継続した交
流の場が必要」との要望を受けました。

本年四月からは、一関市社協が主催と
なり、「ふるさとお茶っこ交流会」を開催。
現在は一関地域を中心にお茶っこ交流会
を開催し、「被災者同士の交流の場づく
り」を行い、地域に点在している被災者
の声を聞きながら、被災者同士の住民交

流事業を進めています。

今後は様々な団体等の協力をいただき
ながら、料理教室やレクリエーションな
ど、自ら参加する活動を増やし、少しで
も被災者の笑顔が増えるような「お茶っ
こ交流会」の開催を進めていきたいと考
えています。

花泉支部

サロンを通して花を心を育てます

高齢者の閉じこもり予防や生きがい活
動を目的としたふれあいサロンは、花泉
地域でも定着し、現在四〇集落で取り組
んでいます。集いの場としてのお茶飲み
はもちろん、創作活動、郷土料理、温泉
旅行、奉仕活動、健康体操等々その取組
みも様々です。

その中から今回は、高倉集落いきいき
クラブ（代表岩渕虎雄さん）の活動をご
紹介します。ここではグラウンドゴルフ
大会の開催や、資源回収をして活動資金
に充てる等の活動の他、特徴ある取組み
として、地域内にある集落花壇三カ所を

みんなで育
てながら交
流を図って
います。春
には土を掘
り起こし

て堆肥を入
れ、六月に
は花苗植付
け。昨年は
マリーゴー



ルドを四種類
三四〇本を植
えました。草
取りもみんな
で行い、八月
には綺麗な花
がたくさん咲
きました。



参加者個別
の体力に合わせた作業の配慮も、長続き
の秘訣でしょう。年間を通じた、文字通
りの地域に花を添える活動は、道行く人
やサロン参加者の心を穏やかに、優しい
気持ちにしてくれています。

大東支部

地域の宝物である子どもたちを見守ろう

「わんこ隊」活動中

大東町大原小学校の児童が放課後に過
ごす場所を提供する「地域で見守る『わ
んこ隊』」が今年度より運営が開始され
ました。

同隊は、就
労等で昼間家
庭にいない保
護者に代わっ
て子どもたち
の放課後の居
場所を提供
し、地域によ
る子育て支援
を目的とした
地域住民によ
る任意団体と



して設立
されまし
た。

現在、
登録児童
は一年生
～四年生
の八名。

月々金曜
日の午後

六時まで、同町大原の一六合同会館で地
域支援員に見守られながら、地域住民に
よる伝統文化伝承活動や自主学習に取り
組んでいます。

同隊の佐藤文信隊長は、「現在、お手
伝いいただいている地域支援員は十名。
その中には、先生や指導者ではないが
様々な特技を持っている方が多くいる。
これを契機に、今後は子育てと保護者の
就労支援だけでなく、児童と地域住民の
世代間交流から「地域」を知ってもらい、
地域活動を担う人材育成を図っていきた
い。」と地域の将来を見据え、これから
の活動に意欲を見せていました。



千厩支部

千厩：支部通信

「千厩地域手をつなぐ会と一緒に」

千厩支部では、千厩地域手をつなぐ会
と一緒に在宅の知的障がい者を対象に
「イキイキ教室」をボランティアや関係
団体等と連携しながら開催し、障がいの
ある方の社会参加を支援しています。

千厩地域には、知的障がい者の親の会

東山支部

「ふれあいサロン代表者会議」

五月三十日(水)東山保健センターにおいて、ふれあいサロン代表者会議を開催しました。



東山町内で活動するサロン代表者四十一名の出席でそれぞれのサロンの活動内容、今抱えている課題についての発表、それについての意見交換をしました。

今年度、一関市の「いちのせき元気な地域づくり事業」で「ふれあいサロンサポーターリーダー講習会(仮称)」の開催を予定しており、その講習内容についても意見を頂きました。年五回の講習会について「自分たちのサロンに役立てられるものを」を前提に意見をいただきました。希望する内容で一番多かったのが、軽運動・いす又は床に座ったままでの軽運動・音楽に合わせた軽運動であり、今回の会議での意見を参考に、講習内容として講習内容の決定することです。

今年の遠足は八木山動物園。お馴染みのキリン・象・ライオン等に、会員もボランティアのおじさんも感激。親子猿の行動にくぎ付けになったり、皆童心にかえって見学して回りました。また、障がい者の作品を販売している施設やコーヒショップ等の見学も行いました。子供とは言ってもほとんどが五十歳以上、高齢の親を互いに気遣いながら、そしてボランティアの皆さんのあったかい手を借りての外出です。

手をつなぐ。少ない会員ながらも子供達のために一緒に活動する親の姿がここにあります。

室根支部

「口の健康」再確認！

「室根・矢越地区内サロンで合同講習会」

六月五日、室根矢越地区の五つのサロン合同による「お口の健康講習会」が矢越第七集会所を会場に開催されました。歯科衛生士・千葉千ヨさん(室根町折壁)を講師に、講義では、まず、手鏡を使っての自分の舌を観察することからはじまり、健康な舌の状態を確認、異常な舌・口の状態を写真のポスターを見て確認しました。

『口の機能低下が肺炎等の病気につながったり、栄養摂取の妨げになったりする。』『口の健康』が体の健康につながる第一歩。』とお話しに皆、「口の健康」の重要性を再認識しました。

口腔体操の実技では、実際に口や舌、体を動かし、声を出したりしてみ、体操のコツをつかんでいたようです。最後に色々な口腔関連グッズの紹介があり、皆、興味津々のようでした。サロン同士の合同講習会。みんなで口腔衛生・口腔機能向上のための勉強ができ、家で早速取り組める口腔体操を教えてもらい、参加者の皆さんは、すっきりとした笑顔で帰られ、とても有意義な講習会となりました。



川崎支部

ちびっこ・あつまれ〜！

「キューピー」

サロン」は毎月二回第二、第四金曜日に開催している子育てサロンです。就学前のお子さんを対象に、本の読み聞かせや歌の体操、いろいろな遊びを通して、親子の交流や育児不安の解消のための子育て支援と仲間づくりを行う場を提供しております。



保育士の資格を持つている方や経験豊富なボランティアの方々がお世話をしてくださいますので、親子で参加してみませんか。もちろん、里帰りの親子さんの参加も大歓迎です。

六月八日開催された「キューピーサロン」では、ブロック遊びに集中しているちびっ子や、お世話人に「たか〜い、たか〜い」をしてもらい「キヤー、キヤー」と元気な歓声が聞かれ、とつてもにぎやかでした。

サロン名のとおり、可愛らしいキューピーさんたちのたくさん笑顔が見られました。お母さんたちも和やかな時間がすごせたとようです。

ちびっ子の参加をお待ちしてま〜す。

藤沢支部

藤沢支部を紹介します！

一関市社会福祉協議会藤沢支部として4月からスタートしました。皆さんどうぞよろしく願います。藤沢支部の事務所は、初めて来られる方には少し分かりにくい場所にあります。保健センター前の駐車場から光栄荘の方を見ると、看板が掛けられた玄関が見えます。看板は住民の方による手書きで、「社会福祉法人一関市社会福祉協議会藤沢支部」と表示しており、中には藤沢支部の事務室と「特定非営利活動法人藤沢町ボランティアセンター」の事務室があります。藤沢町ボランティアセンターは介護保険事業所として総合的な在宅福祉サービスを提供しています。隣接して「国保藤沢病院」や「老人保健施設・老健ふじさわ」、「特別養護老人ホーム・光栄荘」「グループホーム・やまぼと」があり、各施設は一体的な運営の中で地域を支えています。少子高齢化が進む山あいの小さな町は、福祉や医療のニーズが年々大きくなつてきており、地域の住民は医療や福祉施設等を「命を守る砦」として大切に使っています。また、4月の区長会では大澤会長から区長さん方に福祉委員の委嘱状が手渡され、地域福祉の推進のため今後とも協力いただきます。



地域活動団体紹介

「やまぼとボランティアの会」

東山町長坂を中心に、地域に根ざしたボランティア活動を展開している「さとまえおいとこの会」（会長佐藤正子 会員八名）を紹介します。平成六年に伝統芸能の継承を目的に結成し、地域の福祉施設の慰問、環境整備、自治会館を活用したふれあい交流会等活発な活動をしています。

なかでも特徴的なものは、「日頃家庭に閉じこもりながちなお年寄りに少しでも楽しんで頂き、ますます元氣になつてもらうこと」を目的にはじめた「地域支え合い交流会」です。今回で七回目を迎えた交流会は、六月二日(土)に、里前集会所で開催されました。アトラクションから始まり、華やかな着物姿の「おいとこ」、舞踊や民謡、食生活改善推進協議会の玄米ニギニギ体操と一緒に歌ったり手拍子を打ったりして盛り上がりました。その後、高齢者総合相談センターしぶたみの職員による口腔運動や軽運動の実技指導、福



祉用具の紹介、展示・相談などが行なわれました。

昼食には、百人鍋で作った特製の豚汁、手づくりのおにぎりが振舞われ、集会所の庭では大判焼きやわたあめの出店もあり、多くの協力団体のもと会場が笑顔いっぱい交流会でした。

かわら版

第七回一関市社会福祉大会

平成二十四年七月二七日(金)

午後一時三〇分～四時

藤沢文化センター 縄文ホール

・表彰

・記念講演

一関市国保藤沢病院

院長 佐藤 元美 氏

「市民とともに創る地域医療と福祉」

記念講演のみの聴講も結構です。

社協ふくし祭

「ゆいっこ広場in室根」

平成二十四年九月三〇日(日)

午前一〇時～午後二時

一関市役所室根支所 特設会場 他
内容

・交流イベント、展示コーナー、体験コーナー、非常食炊出し訓練、特産物・授産施設作品販売など、

詳細が決まり次第、チラシ等でお知らせします。

お誘い併せの上、ご来場ください。

地域での暮らしを考える

連続講座 〈共同企画〉

地域での暮らしを考える講座は、五月十九日に「生きる覚悟―茶杓から学んだこと」と題する作家小野寺峇氏の講演と、「舞川地区福祉活動推進協議会の取り組み」について舞川地区福祉活動推進協議会事務局長 伊藤一氏の実践事例発表が開催されました。

先生は冒頭「私は作家と紹介いただきましたが、ただの主婦です。」と前置きされたのち、二〇〇九年に出版された「茶杓―消えた伊達家老―」を執筆した経緯として、仙台山内氏から提供いただいた「伊達藩宿老 富塚氏と一族のすべて」という本に触発されて、いわば、正史には記されていない、家臣の側に残されていた史料と独自の調査によつて小説という形態によつて発表したものです。

この小説の主人公は、思いもかけない兄の早逝により、二男でありながら、伊達藩宿老富塚家の当主となり、その後の半生を父との確執や、藩主との交流、伊達藩の経営、男女の愛などをからめ、父の残した「茶杓（ちゃしやく）」をモチーフとして描かれた作品で、封建制度という厳しい社会の中で、何事にも取らわれない生き方をしようとした富塚重標（とみづかしげたか）という実在した人物の数奇な物語として描かれています。

講演では、この作品を中心に、先生の日常のこと、他の歴史的事件などに触れ

られながら、ものごとの価値の多様なこと、情報の一方的な受け取り方ではないけないこと、宿命にあらがう人間の自由への渴望などなど、大きな示唆に富むお話でした。

参加者からは「うなづける点がある」「人にはだれも踏み込めない領域がある」とつくづく感じた」などの感想を講演後に話されていました。



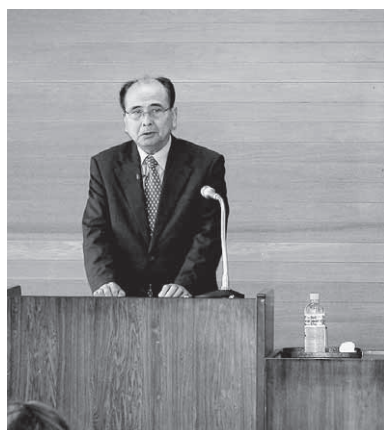
舞川地区は、数年前に開通した県道により交通の利便性が飛躍的に向上した。また、沿岸部と結ぶ県道は地区を東西に横断し、旧東磐井地域との交流や、磐井病院への通院道路、災害復興道路等としての利用で交通量が増加し近年地区は大きく変貌しています。

しかし、人口は推進協議会を結成した二十四年前に比べると約一、〇〇〇名減少し、高齢化率は、三十四パーセントに達しています。核家族化の進行と、通勤

通学ルート沿線による移住により世帯数は増加しています。・後継者・農作業の担い手不足・地域活力の減退・老々介護・単身赴任者の増加・家庭生活の変化等福祉を取り巻く環境の変化とさまざまな課題が生じています。

舞川地区福祉活動推進協議会は、やすらぎのある生活ができるような地域の実現を目指し、各種団体と連携を密にしなから、世帯間交流事業、ふれあいサロン事業、チャリティー演芸祭、一人暮らし高齢者の慰問、子育てサロンなど地域ぐるみの活動を展開しています。

地区を社会状況は、少子高齢化の進行、厳しい雇用状況、連帯感の希薄化など様々な変化や矛盾などを地域社会にもたらしています。福祉活動の取組みもこれらを踏まえた対応が求められており、そのような状況を的確にとらえ、地域住民が安心して生活ができるよう、より一層寄り添い、その橋渡し役を果たして行きたいと考えております。



抄録をご希望の方は、一関市社会福祉協議会までお申し出ください。

今月のギャラリー

工房では、作業の一環として、アート創作をしています。

伊藤 勝弘さんが工房に來始めたころは、「描けないよ」と、恐る恐るペンを持つていましたが、「心に平和をカレンダー2010」に選ばれて、少し自信がついたのか、それからは、マイペースで創作活動をしています。

「木上のパンダ」「春の散歩」の、動物たちの表情を見ていると、「ふと微笑んでしまう」そんな作品です。



お問い合わせは、工房てんとう虫まで
一関市川崎町薄衣字諏訪前九七
電話 〇一九一四三二四七三三

本 部

千葉県千葉市 千葉大学大学院医学研究院
子どものころ発達研究センター様 69,395円

一関支部

一関市 山目尋常高等小学校 昭和十年会一同様 6,715円
一関市 法泉寺 寒修行団 代表 吉家本浄様 100,000円
関が丘 浅野 タミ様 1,110円
三関字神田 松倉 忠様 8,400円

花泉支部

花泉町 涌津社交ダンス愛好会代表 岩渕 英雄様 9,551円
日形字小野 菅原 政義様 100,000円
花泉町 をどりのボランティア250回記念
水木流 鶴升会様 10,000円
金沢字南町 加藤 春樹様 100,000円
永井字三本木 千葉 岑男様 100,000円
金沢字鹿伏 佐藤 俊雄様 50,000円
日形字井戸沢 小野寺きみ子様 タオル100枚
東京都世田谷区 今野 利博様 100,000円
老松字沼ノ沢 千葉 正善様 50,000円
涌津字道下 皆川 セツ様 100,000円

大東支部

大原字山吹 千葉 稔様 30,000円
摺沢字新右エ門土手 村上富美子様 100,000円
大原有南田 小島 真弘様 50,000円
大原字館下 鈴木 斉様 50,000円
大原字和野 菅原五三男様 50,000円
猿沢字伊勢堂 小野寺 憲様 50,000円
宮城県気仙沼市 佐藤 光男様 30,000円
猿沢字七ツ森 及川 弘様 50,000円
曾慶字十文字 岩渕 友教様 50,000円
大原字藤ヶ崎 菅原 堯様 50,000円
鳥海字菖蒲沢 皆川 勇様 50,000円
摺沢字小沼 三浦 孝徳様 100,000円
大原字跡ノ沢 熊谷 常人様 50,000円
大原字大杉 小野寺愛志様 50,000円
大原字立町 勝部 孝行様 100,000円

千厩支部

千厩字下木六 菅原 正行様 100,000円
千厩字前田 三浦香代子様 100,000円
千厩字町 千葉 麗子様 100,000円
奥玉字八幡前 藤野 清貴様 100,000円
小梨字三ノ沢 畠山 清一様 100,000円
千厩町 愛宕婦人会様 30,000円
千厩町 ソシアルダンスサークル84様 10,810円
千厩字四日町 本田 峯子様 100,000円

東山支部

田河津字高金 田河津中学校昭和41年度卒業生同級会
代表 佐藤 充様 50,000円
田河津字横沢 渡邊 明彦様 100,000円
長坂字柴宿 那須 浩様 200,000円
田河津字竹沢 竹沢集落振興会会長 菅原信吉様 50,000円
松川字野平 佐藤 秋男様 100,000円
松川字野平 安東 馨様 50,000円
匿 名様 100,000円

室根支部

折壁字田茂木 伊東 喜一様 30,000円
折壁字上前木 熊谷 文雄様 50,000円
折壁字愛宕 藤原美喜男様 100,000円
矢越字高沢 鈴木 正博様 50,000円
折壁字向山 熊谷 次夫様 30,000円
折壁字笠松 小山 芳正様 30,000円

川崎支部

薄衣字泉台 金今 栄一様 50,000円
秋田県由利本荘市 畠山 直子様 50,000円

藤沢支部

黄海字上中山 (株)アーク 代表取締役 橋本 晋栄様 300,000円
東山町長坂 関水書道会 代表 佐藤 関水様 60,000円
藤沢字仁郷 平成23年度一関市藤沢町60歳
同年の集い実行委員会様 10,000円
藤沢字町裏 みちのくビーフ生産組合様 19,986円
藤沢字町裏 藤沢草地利用組合 組合長 近江 育夫様 15,203円
藤沢字町裏 千葉 勘司様 100,000円
藤沢字仁郷 佐藤美喜雄様 100,000円
保呂羽字栗沢 小野寺亮一様 100,000円

ホームページに関する
お問い合わせ先

社会福祉法人 一関市社会福祉協議会ホームページ

<http://www.ichinoseki-shakyo.com/> E-mail : info@ichinoseki-shakyo.com